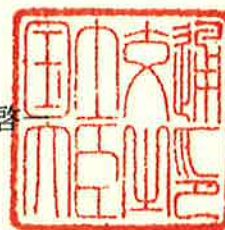


# 認定書

国住指第 2606 号  
平成 29 年 11 月 17 日

日鐵住金建材株式会社  
代表取締役社長 中川 智章 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号（床：2 時間（第一号）、1 時間（第二号））の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
FP120FL-0163
2. 認定をした構造方法等の名称  
軽量コンクリート・デッキプレート造床（合成スラブ・単純支持）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名

軽量コンクリート・デッキプレート造床 (合成スラブ・単純支持)

## 2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	仕様
床 厚	150 以上 200 以下
支持間隔	3600 以下 (総荷重 10025 N/m <sup>2</sup> 以下)
支 持	単純支持

## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕様
① デッキプレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3352 (デッキプレート)</li> <li>・厚 さ 1.0、1.2、1.6</li> <li>・山 高 さ 90<sub>±1.5</sub></li> <li>・働 き 幅 400<sub>-2.0+2.0</sub></li> <li>・形状寸法 別添-6 参照</li> <li>・種 類 SDP2G</li> </ul>
② コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種 類 軽量コンクリート</li> <li>・呼 び 強 度 18~36</li> <li>・厚 さ デッキプレート山上から 60 以上 110 以下</li> </ul>

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
<p>①ひび割れ拡大防止用鉄筋</p>	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)溶接金網</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3551</li> <li>・種 類 (イ)～(ニ)のうち、いずれか一仕様とする               <ul style="list-style-type: none"> <li>(イ)WFP</li> <li>(ロ)WFC</li> <li>(ハ)WFR</li> <li>(ニ)WFI</li> </ul> </li> <li>・線 径 6 以上</li> <li>・間 隔 150 以下×150 以下</li> <li>・かぶり厚さ 床上面から 30</li> </ul> <p>(2)鉄筋(異形鉄筋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3112 又は JIS G 3117</li> <li>・断面寸法 D10 以上</li> <li>・間 隔 200 以下×200 以下</li> <li>・かぶり厚さ 床上面から 30</li> </ul>
<p>②スペーサー</p>	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)鉄線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線 径 規定のかぶり厚さが確保でき、施工時に変形等しない線径以上</li> <li>・間 隔 1000 以下</li> </ul> <p>(2)セメントブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸 法 規定のかぶり厚さが確保できる断面寸法以上</li> <li>・間 隔 1000 以下</li> </ul>

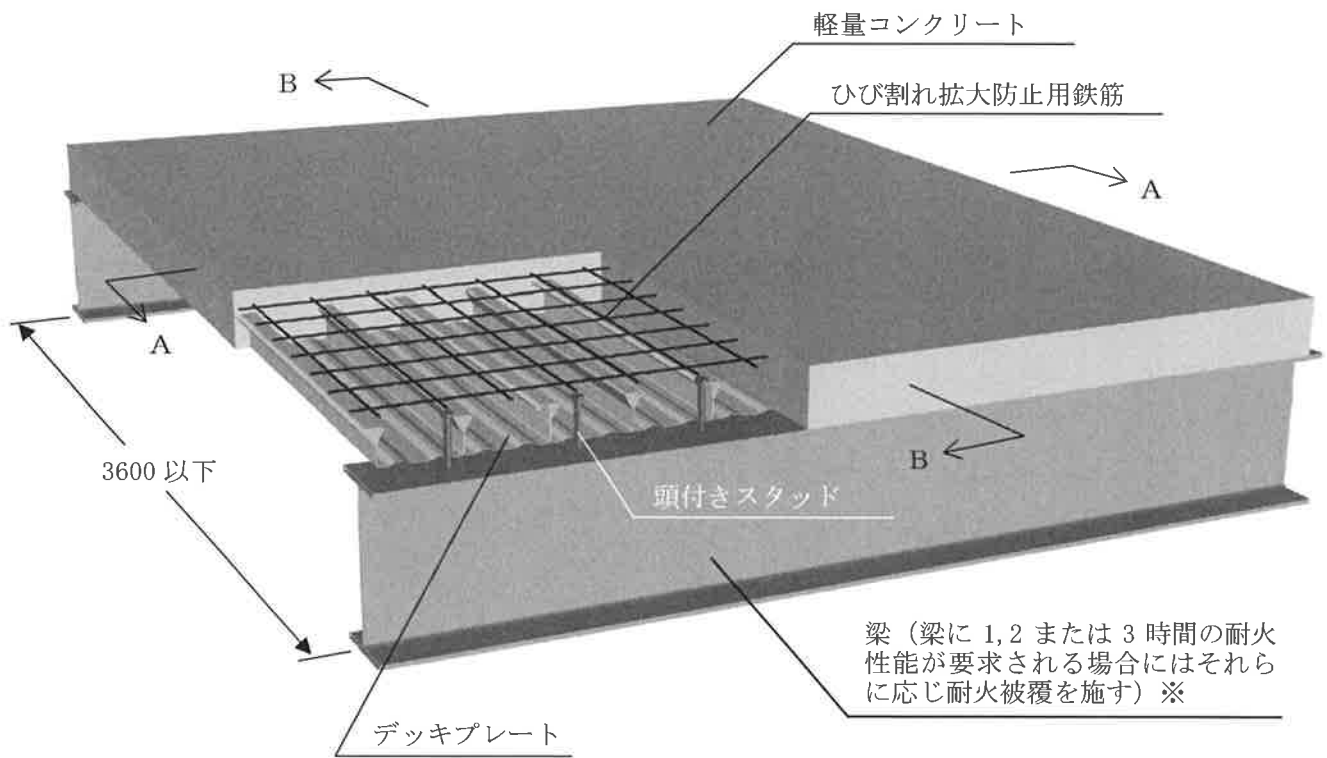
(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
③はり と 床版の 接合方法	頭付きスタッド ・規 格 JIS B 1198 ・寸 法 $\phi 16$ 以上 $\times$ L120 以上 ・間 隔 300 以下
④はり と デッキ プレート の接合 方 法	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1)アークスポット溶接 (2)すみ肉溶接 (3)焼抜き栓溶接 (4)プラグ溶接 (5)打込み鉋

#### 4. 構造説明図

[透視図]

(寸法単位：mm)

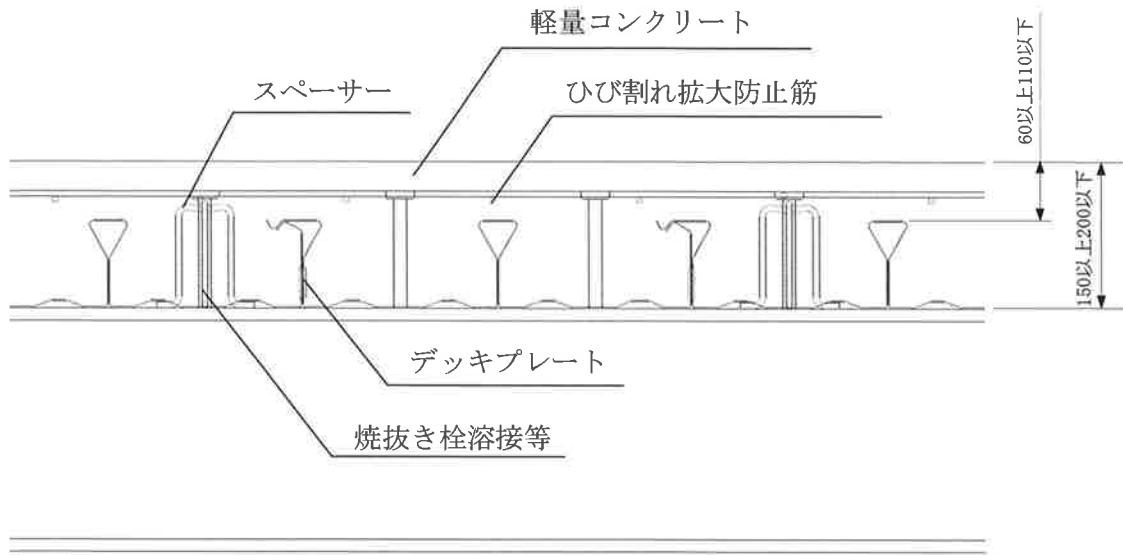


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

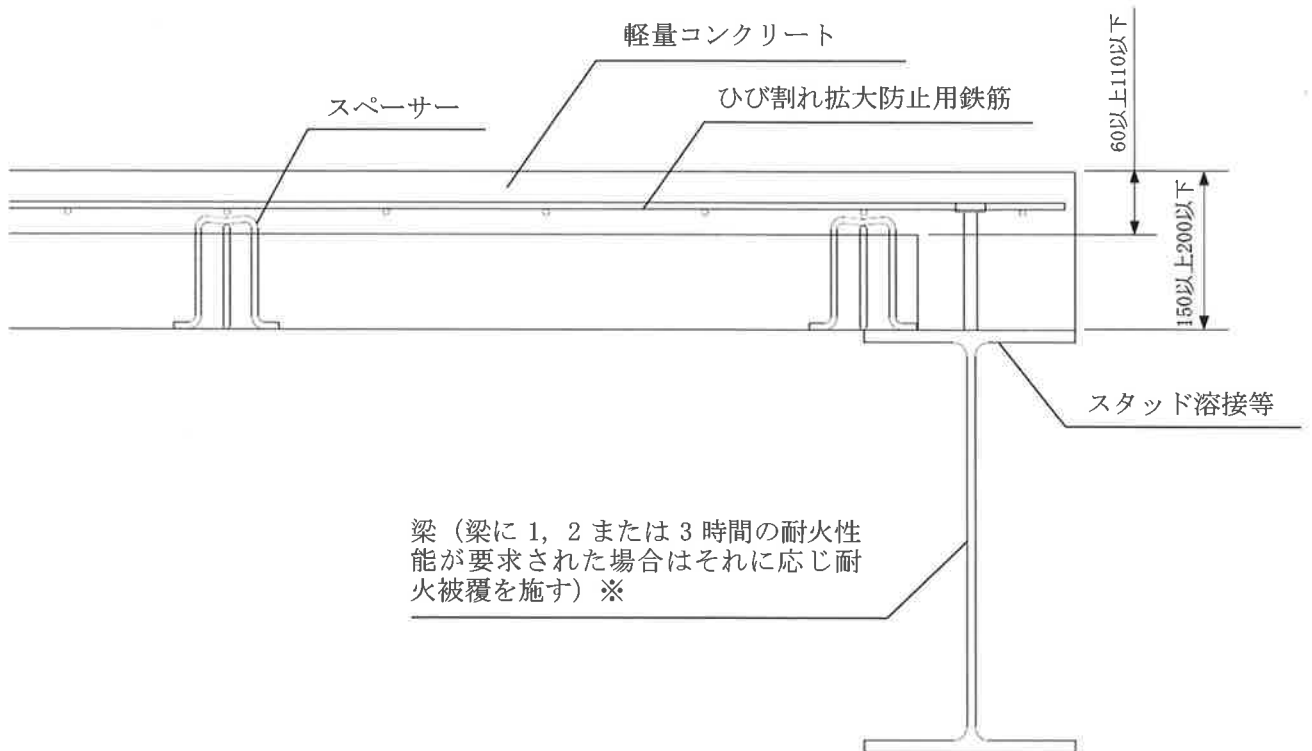
※：本評価内容に含まない

[A-A断面]

(寸法単位：mm)



[B-B断面]



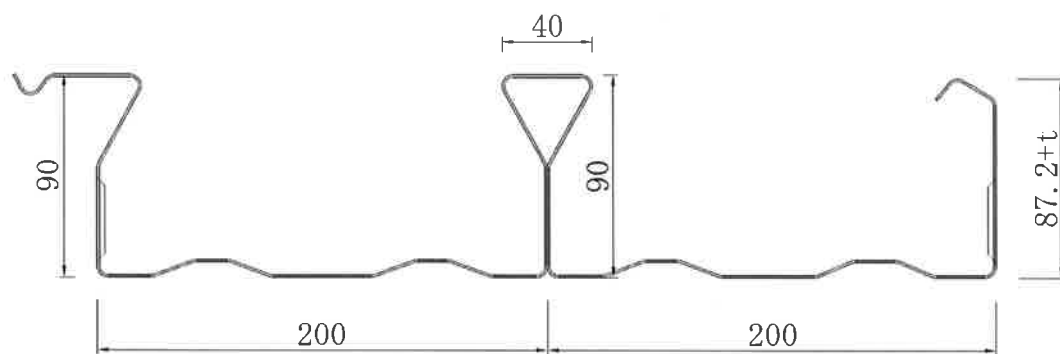
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

働き幅  $400_{+2-2}$

高さ  $90_{\pm 1.5}$

板厚 1.0, 1.2, 1.6



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

## 5. 施工方法等

### <施工図>

#### 4. 構造説明図と同じ

### <施工手順>

#### 1) デッキプレートの敷込み

デッキプレートを墨出し線に合わせて梁に配置し、デッキプレートを梁に溶接等で仮止めする。

#### 2) 床スラブと梁との接合

床スラブと鉄骨梁とは、頭付きスタッドで結合する。

頭付きスタッドの接合方法は、平成 14 年国土交通省告示第 326 号の規定または「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」（日本建築学会）もしくは「各種合成構造設計指針・同解説」（日本建築学会）によるものとする。

#### 3) ひび割れ防止の設置

コンクリートのひび割れ拡大防止のためスラブ上面より約 3cm の位置に溶接金網または異形鉄筋を設置する。

#### 4) コンクリート打設

鉄筋が移動しないよう注意しながらコンクリートを不陸なく打設する。

コンクリートの施工については、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。

#### 5) 仕上げ

コンクリートの表面に金ごて等の仕上げを施す。

#### 6) 養生

施工後の養生は、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。